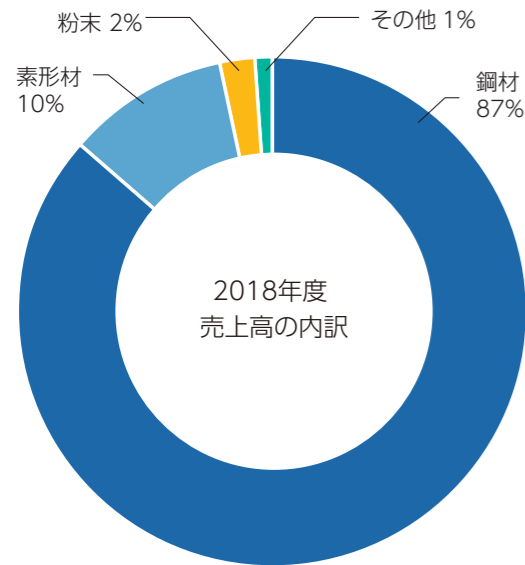


セグメント情報



連結 (単位:百万円)

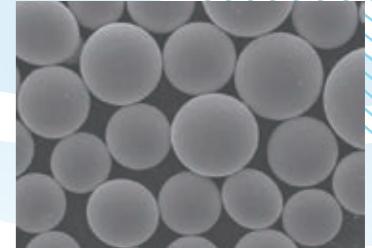
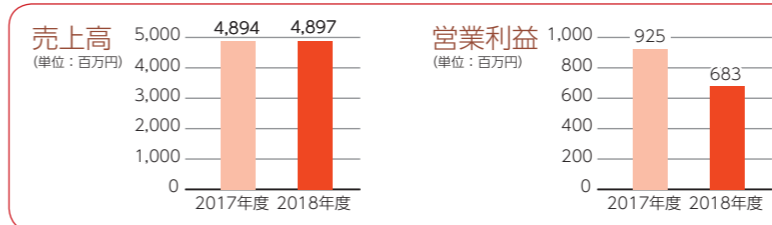
	売上高	セグメント利益
鋼材	170,234*	8,452
粉末	4,897*	683
素形材	19,983*	879
その他	1,641	42
調整額	▲10,938	65
計	185,818	10,123

*売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

◆粉末事業

粉末事業では、不純物が少なく、流動性に優れた高品質の金属粉末を製造しているほか、これらの金属粉末から独自の成形技術によって粉末成形品を製造しています。お客様のニーズに合わせた合金設計だけでなく、量産から研究開発用の小ロットまで幅広く対応。研究開発の最前線から製造現場に至るまで、さまざまな場面で求められる高機能材料を提供しています。

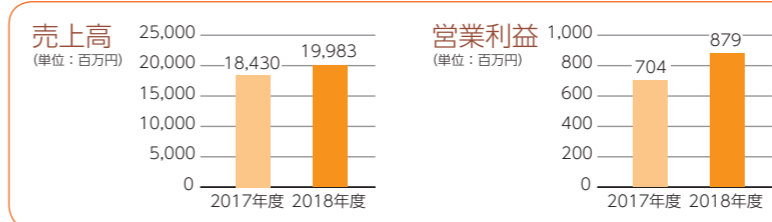
2018年度の売上高は、電子材料向けの販売数量は減少したものの、自動車・産業機械向けの販売数量の増加、販売価格の上昇などにより、前期比2百万円増の48億97百万円となりました。営業利益は、電子材料向け販売数量の減少、原材料価格の上昇などにより、前期比2億42百万円減の6億83百万円となりました。



◆素形材事業

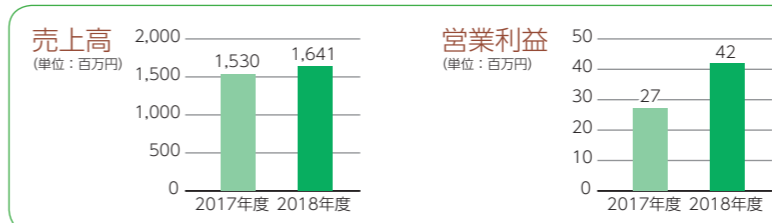
素形材事業では、高 cleanliness 鋼製造技術を駆使して造りあげた高信頼性鋼から、高品質の素形材製品を一貫した工程で製造しています。当社の素形材には、特殊鋼鋼管を高い精度で切断した切断リングや、棒鋼から製造する鍛造リング・型鍛造品・ローリング品、リング素形材を冷間で転造した冷間転造リングなどがあります。

2018年度の売上高は、販売数量の増加や販売価格の上昇などにより、前期比15億53百万円増の199億83百万円となりました。営業利益は、メキシコ子会社における立上げ費用の増加はありましたが、中国子会社における販売数量の増加などにより、前期比1億75百万円増の8億79百万円となりました。



◆その他

子会社を通じて情報処理サービス等を行っており、2018年度の売上高は前期比1億11百万円増の16億41百万円、営業利益は前期比15百万円増の42百万円となりました。



◆鋼材事業

鋼材事業では、国内生産シェアトップである軸受鋼をはじめとして、機械構造用鋼、ステンレス鋼、耐熱鋼、工具鋼などの特殊鋼鋼材、鋼管を製造販売しております。

2018年度の売上高は、販売価格の上昇やMSSS連結子会社化の影響などにより、前期比282億45百万円増の1,702億34百万円となりました。営業利益は、販売価格の上昇や変動費コストダウンの実施などの増益要因はありましたが、原材料・諸資材価格の上昇やMSSS連結子会社化に伴うのれんの償却費の計上などにより前期比7億77百万円減の84億52百万円となりました。

